

セキュリティ業界のリーディングカンパニーであるセコムと、 テクノロジーで保育と社会を変えるスタートアップ・ユニファの連携について

ユニファ株式会社

ユニファ株式会社(所在地：東京都千代田区、代表取締役 CEO：土岐泰之、以下「ユニファ」)は、セコム株式会社(以下「セコム」)と紹介委託契約を締結し、2020年2月3日より、ユニファの「[ルクミー午睡チェック](#)」*の販売においてセコムが協力を開始したことをお知らせします。

ユニファは、AIやIoTなどの最新テクノロジーを活用した「[ルクミー](#)」のサービスを全国の保育園などに展開することで、保育業務の負担軽減や保育の品の向上の実現と、保育士と乳幼児、そして家族の安全・安心の向上に取り組んでいます。

そしてこの度、ユニファの事業趣旨に強く賛同したセコムの協力を得て、「ルクミー午睡チェック」の保育園などへの導入を両社が連携して行うことで、保育現場での乳幼児の安全と安心の強化により一層取り組みます。また、さらなる取り組みに関しても、今後も両社にて継続的に検討していく予定です。

ユニファは、全国の約6,250施設、約35万人の乳幼児を対象にサービスを提供しています(2019年8月時点)。今後も「[スマート保育園](#)」の実装等により保育に関する社会的課題の解決をし、保育園を社会インフラ化することで、女性の社会参画・労働人口の増加を支援するだけでなく、現代における子育てと家族に幸せを生み出していきます。

※乳幼児を預かる保育園などでは、乳幼児突然死症候群(SIDS)を防止するため、保育士がお昼寝中の子どもたちのブレスチェックおよび仰向け寝の確認と、その確認についての手書きでの記録を実施しています。

「ルクミー午睡チェック」では、乳幼児の体動の有無(体動から呼吸の有無を判断)、うつ伏せ寝を検知し、危険があれば保育士に音などのアラートで通知することができます。このサービスにより、これまでの数分間隔での目視によるチェックよりも、早く危険を察知することが可能です。

■ユニファ株式会社 <https://unifa-e.com/>

ユニファ株式会社は「テクノロジーの力で家族をもっと豊かに」をテーマに、IoTやAIを活用したデバイスの開発およびサービスを提供することで、家族や社会の課題解決を目指しています。保育園での乳幼児の安全なお昼寝を見守る医療機器によるヘルスケアサービス「ルクミー午睡チェック」、保育施設での子どものような成長を記録し、保護者がオンライン上で購入できる写真・動画提供サービス「ルクミーフォト」など、総合的な保育支援デバイスの開発およびサービスの事業を展開しています。また、これらのサービスで子どもの安全や保護者の安心、保育業務の負担軽減を実現する次世代型「スマート保育園」の拡大に、官民学と協働し取り組んでいます。

<会社概要>

会社名：ユニファ株式会社

代表取締役 CEO：土岐 泰之(とき やすゆき)

設立：2013年5月29日

従業員数：198名(2019年9月現在)

資本金：34億8,399万円(資本準備金含む、2020年1月現在)

以上